

報

(1) 支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

(2) 支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

15 152x257 (14. 6. 10.000 小葉半切)

29	417	支那事變以來 中南支ニ於ケル 軍ニ對スル 協力狀況 昭和十四年	緒言	s147	建築狀況	P.1-10	p.151-160
----	-----	---	----	------	------	--------	-----------

支那事變以來中南支ニ於ケル軍ニ對スル協力狀況

臺灣拓殖株式會社

帝國ノ南方政策ガ明野ノ間ニ本格的ニ論議セラル、ヤ臺灣總督府ハ昭和十年秋、熱帶産業調査會ヲ臺北ニ開催シ島内ノ産業開發、南支、南洋トノ經濟提携ニツキ調査研究スルコトナリ、其目的遂行機關トシテ誕生シタノガ吾臺灣拓殖株式會社デアアル。此重大使命ヲ帯ビテ昭和十一年十一月二十五日會社創立セラル、ト共ニ直チニ島内ノ資源開發ニ着手シ進ンデタイ國、馬來半島、爪哇、比律賓、北ボルネオ方面ニ實情調査員ヲ特派シテ具サニ他日ノ經濟的飛躍ニ備ヘント努力シ來ツタガ、今次ノ支那事變ハ南支ノ空ヲ蔽ヒ、果然昭和十三年十月二十一日勇猛果敢ナル吾皇軍ニヨリ廣東陷落スルヤ、吾社ハ十一月十五日嚴慮未ダ收マラザル廣東ニ社員數名ヲ派遣シ軍ノ囑託トナシテ軍務ニ携ヘリ、或ハ日本ヨリノ輸入品統制チ司ルヘキ宣撫用品配給組合設立サル、ヤ高山理事ガ選擧チ代表シテ組合理事長ニ擔ハリ、又三省連絡會議諮問委員會ガ三井、三菱、臺灣、正金、商船、郵船、臺灣ノ手ニ

ヨリ組織サレテ高山理事ガ委員ニ加ハリ共ニ軍ニ對シ人的協力チナシ

テイル。

文化施設トシテ一日モ缺クヘカラザル電氣、水道ガ燦破、燒損サレテ無類ノ形骸トナレルヲ總督府チ通シテ復舊工事ヲ最速ニ命ゼラル、ヤ欣然之ヲ引受ケ、最短ノ期間ト最大ノ努力チ以テ復舊チ成功セシノ今ヤ五千キロワットノ電光ト一千万ガロンノ淨水チ供給シテ駐屯將兵ト廣東良民ニ感謝ノ念チ以テ迎ヘラレテイル。

更ニ昭和十四年四月兵要金屬資源開發ノ目的ノ下ニ軍ニ於テタンクステン其他金屬ノ買鑛チナスベク指定邦商國ノ國商協會ガ結成サレ、吾社ハ三井、三菱、石原、杉原各社ニ伍シテ之ニ協力シ、鑛山開發ニツキテハ我國ノ不足資源ノ獲得ト戰地ノ宣撫工作、難民救済ノ意味チ含ノテ烏石崗鑛業所チ設ケタノデアアル。農桑振興ハ吾社創業ノ趣旨ニ鑛ニ最モ力ヲ注グ處ナルガ、支那ノ未利用地チ開墾シテ農民ノ福利チ増進スルタノ、中山大學農場チ開放シ、農林、畜産ノ試驗所チ設ケテ優良農作物及畜類ノ農場チ墾テントスル軍ノ希望ニ副ヒ、支那法律ニ基ク日支合辦ノ興業公司チ設立スルコトナリ、若ク其準備工作チ進

ノツ、アリ。

之ニ先立チ昭和十三年五月帝國海軍ニ依リ廈門島ガ占據セラル、ニ及ビ臺灣總督府計畫ノ第一回調査團ニハ臺拓、臺電、船舶、福大ガ参列シ、廈門ノ電力、水道、製水事業ノ經營操作ニツキ臺拓代表者ハ具體案ノ作成、新經營體ノ組織ノ根本方針ヲ立テ、現地海軍トノ接衝ニ當リ、七月末ニハ上京シテ陸海軍、大藏省、企畫院ヲ屢訪シテ現地案ヲ説明シ、其承認ヲ經テ八月再ビ廈門ニ引返シ東京承認案ノ實現ニ努力シタガ、ソノ經營ハ學ケテ姉妹會社タル福大公司ニ委スルコトトナツタ。

翌十四年五月汕頭ノ攻略ニ當リテハ逸早ク社員數名ヲ軍ノ要望ニヨリ軍賜トシテ派シ、汕頭ノ電氣、水道ノ復舊工事ノ調査ニ從事セシノクガ、殊ニ水道ノ破損ハ比較的輕微ナルヲ突キ止メ臨機ノ下、吾社派遣員ノ決死ノ努力ヲ以テ數日間ニテヨク之レヲ復活シ、軍ヨリ絶讃ノ辭ヲ呈セラレ大ニ吾社ノ面目ヲ施シ得タノデアル。

昭和十三年一月一日廈門ノ對岸金門島ノ占據ニ當リテハ吾社ノ小川社員ヲ遣シテ領物資源ノ調査ヲ遂ゲシメ、同十三年三月 島ヲ攻メ

ルヤ福澤社員ヲ派シテウオルフラム調査ニ當ラシメタ。香港ニハ十三年十一月ヨリ駐在員ヲ置イテ支那要人ニ對スル關係工作トモモキ、

蒐集ニ努メシメテイル。更ニハノイ、マニラ、盤谷等、南洋ノ吾社駐在員ニハ南洋華僑ニ對スル動向ニツキ常ニ本社ニ情報ヲ送ラシメ之ヲ關係方面ニ提供セルナド何レモ軍ニ對スル直接間接ノ協力ナラサルハナイ。

○ ○
昭和十四年二月十日、吾無敵海軍ノ海南島敵前上陸トナリ、忽チ海ロヲ陷ル、ヤ、旬日ヲ經タル廿日ニハ吾社員數名ヲ海ロニ派シ、物資ノ輸送ニ當ルト共ニ軍ノ諒解ヲ得テ土匪ノ銃彈下ヲ潜リナガラ地質及産業ノ調査ヲ遂ゲタノデアル。

海南島ニ於テ三省運路會議ノ承認ヲ得テイル吾社ノ事業ハ一熱帶産業試驗所、三資産改良試驗所、三資産、四自動車、五建築、六製氷各事業ヲ行フ。

吾社ノ海南島ニ對シテ最モ重要ナル處ハ三資産ノ經營ニアリ、既ニ

海口三省會議ニモ之チ力説シテ諒解ヲ得、今少シク治安ノ恢復ヲ待チテ綜合的熱帶産業試驗所ヲ全島ニ五箇所位、畜産改良試驗所ヲ二箇所位配置シテ、日本ノ技術ト資本ヲ移植シ優良品種ヲ調査研究シテ之ヲ廣ク土民ニ奨勵シ以テ同島ヲシテ農業立國ノ礎石ヲ築カシメ、文化ノ向上ニ資セシメントシテイル。據ラクハ與地ニハ土匪横行シ今尙ホ東亞新秩序ノ建設ヲ阻ミ、吾社ノ此種事業モ幾分碍サレテイルガ彼占據地域内ニ於ケル諸事業ハ着々ト其緒ニツキツ、アル。

栽培事業ハ瓊山蔬菜園ニ於テ新鮮ナル蔬菜ヲ作り軍及ビ治安維持會ニ供給シ、良品種ノ種苗ヲ近郊農民ヘ無償配布シテイル。秀英苗圃ニハ有用植物ノ育成ニ當リ、各種ノ種苗ヲ臺灣ヨリ移入シテ之ヲ播種スルト共ニ道路並ニ區劃整理、農具會、肥料會、倉庫ヲ竣工シタ。畜産事業ノ主ナルモノハ生畜移移、屠畜、製革、酪農諸事業ニシテ生畜移移出ハ本年七月中旬、廣東軍ヨリ吾社海口事務所ニ對シ海南島生豚ノ納入方電命アリ、三井物産ト協定シテ今ヤ其準備ニ大重トナリオレリ、屠畜業ハ衛生ト防疫ノ立場ヨリ屠畜場ヲ海口ニ設置シ精製

獸肉ノ供給ニ當リ、製革業ハ屠殺セル家畜ノ皮革ヲ剝製スル傍ラ原皮ヲ買集メ皮革資源ノ充足ニ資セントスルモノデアル。

其王座ヲ占ムルモノ吾社ハ三月卅一號三省會議ノ認許ヲ得テ自動車事業ヲ經營スルコトニナツタ。目下營業路線ハ海口ヲ中心ニ東南文昌マデ八十軒、西南豐盈マデ十六軒、計九十六軒、バス十二臺、トラツク十臺、ハイヤー十臺ヲ以テ之ニ當リ、近ク匪賊ノ屏息ヲ持ツテ本年内ニ車輛六十臺、路線二百四十軒ニ延長シ、將來ハ全島ニ自動車交通網ヲ張ラントスルモノデアル。ソレニハ従業員ノ不足ヲ告グルヲ以テ自動車學校ヲ海口ニ設ケ技術ト德育ヲ授ケテ勞力自給ヲ圖リ、既ニ校舍、寄宿舎、實習工場ヲ設置シタ。

現在海口市ニテハ住宅拂底ニ惱ミ家屋ノ建築ハ最モ急チ告グルモノナルガ、吾社ハ三省會議ノ要望ニヨリ建築事業ニ乘出シ其手始めニ逐現總督府事務所、領事館廳舎、華南銀行、建築公司等ノ修繕、模倣等、改造ヲ行ツタガ、新築工事トシテハ海軍慰安所、製氷工場、海軍

